

大飯原発の再稼働決定を撤回してください！

福井県知事 西川 一誠 様
おおい町長 時岡 忍 様
内閣総理大臣 野田 佳彦 様
内閣官房長官 藤村 修 様
経済産業大臣 枝野 幸男 様
環境・原発事故収束担当大臣 細野 豪志 様

時岡おおい町長、西川福井県知事、および野田首相、藤村官房長官、枝野経産大臣、細野環境・原発担当相らが、大飯原発3、4号機を再稼働すべきと判断したことに対して、私たちは強い怒りをもって抗議します。大飯原発で大事故が起きてしまったら、野田首相をはじめ、決定をした皆さんはいったいどのように責任をとるといえるのでしょうか？福島事故の現状を見ても、誰も責任などつけていません。このような無責任な判断など、決して許すことはできません。私たちは、再稼働決定を撤回し、関西電力大飯原発3、4号機を再稼働しないよう強く要求します。

若狭の原発で事故が起これば、関西一円は放射能で汚染され、取り返しのつかないことになります。福島第一原発事故の原因究明も十分に行われず、大飯原発では免震棟やフィルター付ベントもなく、防潮堤のかさあげなど、基本的な安全策すらとられていません。「大事故は起きない」といいますが、これは新たな「安全神話」にほかなりません。大飯原発の直下に活断層がある可能性も指摘されています。そしておおい町では避難路すら確保されておらず、京都府北部の自治体でも防災・避難計画を作ることができないでいます。このような状況で再稼働を強行することは、福井はもちろん、京都、滋賀ほか、多くの住民を危険にさらすことになり、まさに犯罪行為にほかなりません。

関西電力は夏のピーク時の電力不足を主張し、「計画停電」の脅しをかけていますが、そもそもピークカットや節電や他社融通の努力などで十分電気は賄えるはずですが、しかし関電は危険な原発の再稼働ありきで、いまだにオール電化住宅販売を増やし続けるなど、電力不足解消のための企業努力がまったく見られません。そしてあろうことか、野田首相も関電も、電力が足りても再稼働すると公言しはじめています。つまり再稼働するのは電力不足だからではなく、再稼働しないと電力会社の経営が厳しくなり、日本経済に影響が出るからだというわけです。しかし経営が厳しいからと言って、これほど危険な商品を販売することは、企業倫理に決定的に反するものです。関電は社会的責任を自覚すべきであり、自治体や政府がこれを追認するなどもってのほかです。

無責任な大飯原発3・4号機の再稼働決定を撤回し、非常に危険な再稼働を絶対にやめるよう、強く要求します。

2012年6月16日

アジェンダ・プロジェクト

〒601-8022 京都市南区東九条北松ノ木町37-7

TEL&FAX 075-822-5035